

American DJ®

LED TRISPOT

取扱説明書

Ver. 1.00



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ LED TRISPOT をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。LED TRISPOT は DMX に対応した、軽量かつコンパクトな LED カラーチェンジャーです。ステージの小型スポットライトとして、またミラーボールに照射するピンスポットライトとして、様々な場所でご使用頂けます。サウンドアクティブモードでの使用が可能な他、DMX コントローラーで操作することもできます。

本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また、本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

製品の特徴

- ・ 3W 3in1 RGB TRI LED
- ・ DMX512対応 (3DMXチャンネル、または5DMXチャンネルから選択)
- ・ サウンドアクティブモード(本体にマイクを内蔵)
- ・ 調光 0-100% (DMX制御時)
- ・ ストロボ機能 (5DMXチャンネルモードにて制御時)

※製品の仕様は改良の為、予告無く変更する場合がございます。

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。異常がある場合は販売店にご相談下さい。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置して下さい。電源ケーブルは踏まれたり挟まれることのない場所に設置して下さい。
3. 電源、電圧が正しいことを確認して下さい。AC100V、50/60Hzにてご使用下さい。
4. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れて下さい。本体を他の機材と接続する際には、必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
5. 感電防止のため、使用中は部品に触れないで下さい。また、本体カバーを外した状態でのご使用はお止め下さい。
6. 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合は保証対象外となりますので予めご了承下さい。
7. 本体は通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また、周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意下さい。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないで下さい。
8. 本体に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意下さい。感電や火災の原因になります。
9. デイマーパック(調光機)からの電源供給によるご使用はお止め下さい。
10. 長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いて下さい。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡して下さい。

メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

基本操作

サウンドアクティブモード

内蔵マイクで感知した音に反応して、本体の内蔵プログラムが動作します。

1. 本体の電源を入れ、ディップスイッチ#10 を ON に設定します。
2. 内蔵マイクで感知した音に反応し、色が変わります。

マスター/スレーブモード

接続した複数の LED TRISPOT を同期させることができます。

マスター/スレーブモードでは、1 台の LED TRISPOT をマスターユニットとし、その他の LED TRISPOT は全てスレーブユニットに設定します。スレーブユニットはマスターユニットのプログラムに合わせてサウンドアクティブで動作します。最大 16 台の LED TRISPOT を連結することが可能です。どの LED TRISPOT もマスター/スレーブ設定を切り替えることができますが、マスターユニットに設定することができるのは、接続された機器の内、末端の 1 台だけです。機種は全て同じものである必要があります。LED TRISPOT 以外の機器を混合して使用しないで下さい。

[手順]

1. マスターユニットとなる LED TRISPOT を 1 台選びます。
2. 各機器の背面をデジタル 3 ピン XLR ケーブルで直列に連結して下さい。マスターユニットが始点として先頭にくるようにし、マスターユニットの DMX 出力端子に 3 ピンデジタル XLR デジタルケーブルのオスを接続します。長いケーブルをご使用の際には、最後のユニットにターミネーターを接続して下さい。
3. マスターユニットのディップスイッチ#1-9 を OFF に、#10 を ON に設定して下さい。
4. スレーブユニットのディップスイッチ全てを ON に設定して下さい。
5. スレーブユニットがマスターユニットに合わせて動作します。

4-Light Show (マスター/スレーブ オペレーション)

マスターユニット又は最初のスレーブユニットから 4-Light Show を動作させることができます。上記の手順 1~2 に従って LED TRISPOT 同士を接続後、下記の通りに設定を行って下さい。

- 最初のスレーブユニット - スレーブユニット -

1. マスターユニットのディップスイッチ全てを OFF に設定します。
2. スレーブユニットのディップスイッチ#10 以外を全て ON に設定します。ディップスイッチ#10 は必ず OFF に設定して下さい。
3. マスターユニットを除く、連結された全ての LED TRISPOT が、最初のスレーブユニットに合わせて動作します。

- マスターユニット - スレーブユニット -

1. マスターユニットのディップスイッチ#10 を ON に設定します。
2. スレーブユニットのディップスイッチ#10 以外を全て ON に設定します。ディップスイッチ#10 は必ず OFF に設定して下さい。
3. 連結された全ての LED TRISPOT が、マスターユニットに合わせて動作します。

DMXモード

DMXコントローラーを使用することにより、任意の設定でLED TRISPOTを動作させることができます。LED TRISPOTは3DMXチャンネルモード、または5DMXチャンネルモードのいずれかを選択することができます。

1. 3DMXチャンネルモードに設定する場合はディップスイッチ#10をONに設定して下さい。5DMXチャンネルモードに設定する場合はディップスイッチ#10をOFFに設定して下さい。
2. ディップスイッチ#1-9を使用して、任意のDMXアドレスを設定して下さい。ディップスイッチによるDMXアドレスの設定方法は、後述の「ディップスイッチによるチャンネル設定」を参照して下さい。
3. 3ピンデジタルXLRケーブルを使用して、LED TRISPOTとDMXコントローラーを接続します。
4. 下記表、及びDMXコントローラーのマニュアルを参照して制御を行って下さい。

3チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	0-255	赤 0%→100%
2	0-255	緑 0%→100%
3	0-255	青 0%→100%

5チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	0-255	赤 0%→100%
2	0-255	緑 0%→100%
3	0-255	青 0%→100%
4	0-15 16-255	オープン ストロボ 遅→速
5	0-255	マスターディマー 0-100%

UC-3でのコントロール

別売のコントローラーUC-3で、以下の内容を制御することができます。

STAND BY	ブラックアウト	
FUNCTION	1. 同期ストロボ 2. 非同期ストロボ 3. サウンドストロボ	シヨースピード 1 - 3
MODE	サウンド(LED OFF)	LED ON

DMX-512 について

DMX-512

DMX-512とは、照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための、世界共通規格です。DMXコントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN/OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

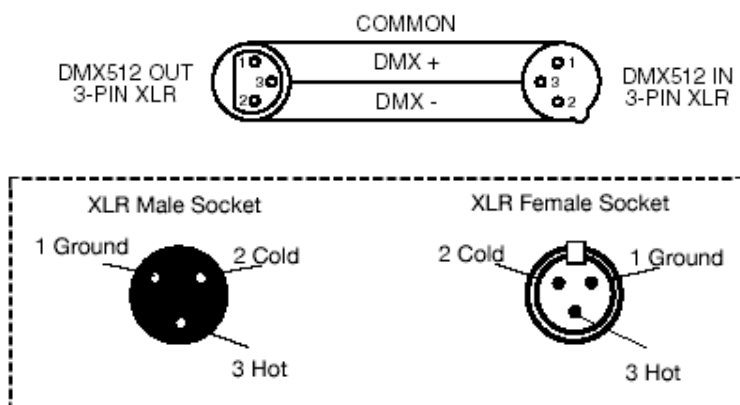
DMXリンク

DMXデータの正確な送受信を行うために、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使い下さい。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は相関しません。接続されたユニットに対して任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

LED TRISPOT は最大 5 チャンネルの DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体前面のディップスイッチで設定して下さい。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。

DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照して下さい。

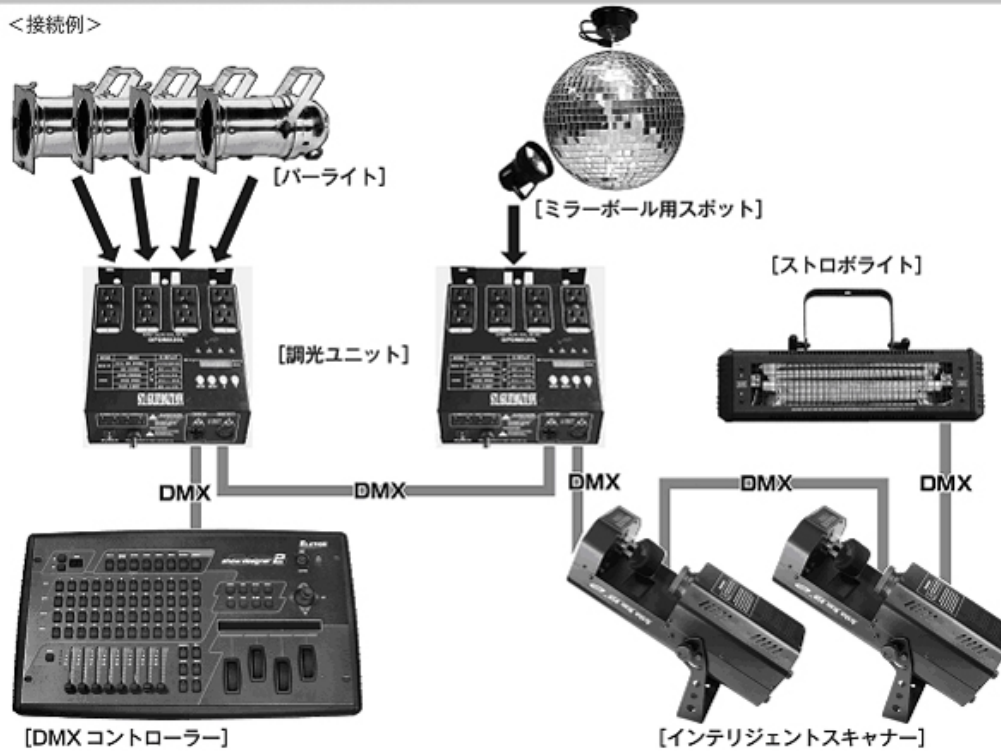


5ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

メーカーによっては 3 ピン XLR コネクタの代わりに 5 ピン XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン XLR コネクタを LED TRISPOT に接続する際は変換アダプターをお使い下さい。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>





- ・DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。
- ・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が長くない様に配線して下さい※。
- ・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。
- ・インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取って下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※－長距離の配線について－

50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダミープラグをさします。ターミネーターの作成方法は下記を参照して下さい。

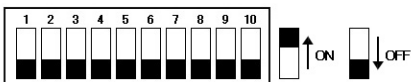
ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
 <p>抵抗</p>	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

ディップスイッチによるアドレス設定

ディップスイッチを使用してチャンネル設定を行う照明機器のチャンネル設定は、下記の表を参照して下さい。設定方法の詳細につきましては次項の『ディップスイッチによる DMX チャンネルの設定方法 (詳細)』を参照して下さい。

Ch	ディップ スイッチ設定				
1		19		37	
2		20		38	
3		21		39	
4		22		40	
5		23		41	
6		24		42	
7		25		43	
8		26		44	
9		27		45	
10		28		46	
11		29		47	
12		30		48	
13		31		49	
14		32		50	
15		33		51	
16		34		52	
17		35		53	
18		36		54	
					128
					256
					...
					...
					...



ディップスイッチによる DMX アドレスの設定方法(詳細)

DMX のスタートチャンネルをディップスイッチで決めるタイプはすべて二進法で計算されています。

<二進法とはなにか？>

通常私たちの生活では十進法が使用されています。十進法とは、0～9を使って数字を表わし、10 になったら位を上げるという考え方です。二進法とは、0もしくは1を使って数字を表わし、2になったら位を上げるという考え方です。

例をあげると

十進法	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
二進法	0	1	10	11	100	101	110	111	1000	1001	1010	1011

この様になり、二進法計算のディップスイッチでチャンネルを決める場合、『0=OFF 1=ON』の考え方になります。

スイッチの設定上 ON / OFF の並びが左右逆での繰り上げで設定となりますが、スイッチで表記した場合

十進法	0	1	2	3	4
二進法	0	1	10	11	100
ディップ スイッチ					

十進法	5	6	7	8	9
二進法	101	110	111	1000	1001
ディップ スイッチ					

このようになります。

また、位の大きいチャンネルを設定する場合、下記の方法を覚えておくと簡単にチャンネルの設定が可能となります。

各番号のスイッチのみ ON にした場合

十進法	1	2	4	8	16
二進法	1	10	100	1000	10000
ディップ スイッチ					

十進法	32	64	128	256	512
二進法	100000	1000000	10000000	100000000	1000000000
ディップ スイッチ					

となりますが、通常の 10 進法と同様に、足し算ですべてのチャンネルを即座に計算することが可能となります。またその場合、全ての計算において、設定したいチャンネル数を上記の『各番号のスイッチのみを ON にした場合』にある、1, 2, 4, 8, 16, 32, 64, 128, 256 の数字に分解して考える必要があります。

例にとってみると

チャンネルを 40 に設定したい場合: $32 + 8 = 40$

$$= \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 & 8 & 9 & 10 \\ \hline \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare & \blacksquare \\ \hline \end{array}$$

この様にして、チャンネル数を設定する事が可能となります。

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行って下さい。＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用下さい。

外側のレンズ ＜一週間に一度＞

■レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き 取った後、から拭きを行って下さい。

通気孔 ＜一週間に一度＞

■通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。通気孔に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません

→通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 ＜一ヶ月に一度＞

■差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認 下さい。

ネジ ＜三ヶ月に一度＞

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認下さい。

ヒューズの交換方法

1. 電源ケーブルを本体から抜いて下さい。
2. 電源ケーブル差込口の隣にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーなどで引き出して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

故障かな？と思ったら

LED TRISPOT が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認下さい。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせ下さい。

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">電源ケーブルがしっかりとささっているか正しい電源・電圧に接続されているか電源ケーブルが損傷していないかヒューズが切れていないか
DMX で動作しない	<ul style="list-style-type: none">DMX アドレスが正しく設定されているか接続に問題がないか正常な DMX ケーブルを使用しているか
サウンドアクティブで動作しない	<ul style="list-style-type: none">小さい音や高音でないか
マスター/スレーブモードで動作しない	<ul style="list-style-type: none">接続された複数台の LED TRISPOT の内、1 台のみがマスターに設定されているか

製品仕様

LED	3W 3in1 RGB TRI LED
DMX チャンネル数	3 or 5 DMX チャンネル
消費電力	9W
ヒューズ	0.5A タイムラグ 20mm
使用電圧	AC100V、50/60Hz
寸法	W12.7×H19.6×D19.8 cm
重量	1.2kg

※製品の仕様は改良の為、予告無く変更する場合がございます。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合ほどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

American DJ®